



2020年10月23日

各 位

住 所 静岡市清水区天神二丁目8番1号  
 社 名 静 甲 株 式 会 社  
 代表者名 取締役社長 鈴木 恵子  
 (JASDAQ・コード番号:6286)  
 問合せ先 専務取締役 鈴木 武夫  
 T E L 054-366-1106

## 業績予想に関するお知らせ

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

## 記

## 1 2021年3月期通期(2020年4月1日~2021年3月31日)連結業績予想

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	33,000	450	490	280	43.54
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前年実績 (2020年3月期)	33,328	399	485	268	41.73

## 2 修正の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による業績への影響額を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。今回の発表にあたり、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、各セグメントにより違いはあるものの、同感染症の拡大による需要への影響は、概ね8月を底として緩やかに回復することを前提とし、業績予想を算定し公表することといたしました。

車両関係事業および冷間鍛造事業、電機機器事業は、前年同期の実績を大きく下回る見込みです。産業機械事業は、工事の延期が発生しているものの、衛生・消毒用品関連で機械の受注・商談があり、また前期から繰越しとなった大型案件の売上もあるため、前年同期の実績を上回る見込みです。全体では、ほぼ前年実績どおりの見込みであります。

利益面では、広告宣伝費や出張制限による経費減により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期の実績をやや上回る見込みであります。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束後も当社グループを取り巻く環境は不透明な状況が続くことが予想されます。今後の感染症拡大や収束の状況、時期をはじめとする外的要因により連結業績予想に大きな変動が見込まれる場合には、業績予想を修正し、速やかに発表してまいります。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上